



二十世紀肖像

全ての写真は、ポートレートである。

Human Images of 20th Century

All Photographs are portraits.

観覧料＝一般500円 [400] 円 / 学生400 [320] 円 / 中高生・65歳以上250 [200] 円
 [] 内は20名以上の団体料金。東京都写真美術館友の会会員、小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料。
 開館時間＝10:00-18:00 [木・金は20:00まで] 入館は閉館の30分前まで
 月曜休館 [月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館] / 11月8日 (月) は臨時開館

主催＝東京都 東京都写真美術館 協賛＝凸版印刷株式会社 協力＝講談社

2010年10月9日<土>-12月5日<日>

東京都写真美術館 恵比寿ガーデンプレイス内

www.syabi.com

二十世紀肖像

全ての写真は、ポートレートである。

Human Images of 20th Century

All Photographs are portraits.



● 鬼海弘雄 / 「王たちの肖像」より 労働者 / 1985年 ● 奈良原一高 / 「人間の土地」より 緑なき島 #28 / 1954-57年 ● 藤井秀樹 / MAX-FACTOR, 丘ひるみ2 / 1963年 ● ヘルベルト・バイヤー / セルフ・ポートレート / 1935年 ● アウグスト・ザンダー / 「時代の顔」より 拳闘家 / 1928年 ● 森村泰昌 / Mother (Judith I) / 1991年 ● 柳田 正治 / 「砂丘」より 少女たち / 1945年
 ※表裏逆版 幸徳田 勝治 / 心の小屋 / 1949年 若手 道子 / [EAT]より 顔と小塚と花組 / 1990年



写真史上の有名作品からあまり目に触れる機会のない作品まで、時代を超えた魅力を放つ20世紀のポートレート写真を中心に「二十世紀肖像」というキーワードで当館の豊富なコレクションをご紹介します。

スタジオポートレート、シュルレアリスム表現、社会派ドキュメンタリー、都市のスナップショット、広告ファッション写真、個人的な私写真表現。人間をテーマとする写真作品は多様なスタイルによって時代の感性や美意識、理想と現実の姿を写し出します。いつの時代にも優れたポートレートはモデルとなる人物の個性をありのままにとらえ、その内面性までも伝えようとします。20世紀の写真はそこからさらに人間の姿をより多様に、自由に表現してきました。たとえば、身体をものとして見せる表現、身体をモチーフとして見る者の想像力を刺激するような表現、こうしたポートレートの枠に収まりきれない写真作品もまた、さまざまな価値観や生のあり方が変貌した激動の時代に生きる人間たちの「二十世紀肖像」と言えるのではないのでしょうか。

本展は、「時代の肖像」「ドキュメンタリーのなかの人間像」「家族へのまなざし」「想像の身体」の4つのパートによってポートレート写真の可能性や人間をテーマとする写真の多様性と戯れながら、その魅力を探っていきます。



東京都写真美術館 www.syabi.com

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3
 恵比寿ガーデンプレイス内 TEL.03-3280-0099

■ JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分。
 ■ 当館には専用の駐車場はございません。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

【担当学芸員によるフロアレクチャー】第2・4金曜日 16時00分から
 ※本展覧会の半券(当日有効)をお持ちの上、会場入り口にお集まりください。

【公式ガイドブック】
 「肖像 ポートレート写真の180年」講談社刊 定価1890円(税込)
 東京都写真美術館ミュージアムショップ ナディフ×10にて限定発売中